

27. 人工歯の選択と床義歯の試適

<到達目標>

- ・ 歯科医師の指示に従える
- ・ ステップごとに報告できる
- ・ 患者にこれから行うことの説明ができる
- ・ 必要器材を準備できる
- ・ 手順に従ってタイミングよく器材を手渡せる
- ・ 診査・調整の補助ができる
- ・ 正しく記録を取れる
- ・ 患者に状態の説明ができる
- ・ 後片付けができる

<設定場面>

患者はデンチャーを新製することとなり、本日人工歯の選択と床義歯の試適する予定である。

<診療手順>

1. 患者の誘導と説明

歯科医師：衛生士、助手に今日の治療内容を伝え、患者の誘導と説明を指示する。

助手：患者をチェアに誘導する。必要な器材を準備する。

衛生士：処置内容を説明する。

2. 人工歯の選択

①形態の選択

歯科医師：顔面の基本形態を分類する。

衛生士：分類した顔面形態を記録する。

②人工歯の大きさの選択 必要器材：技工用ノギスまたは物差し

歯科医師：上顎6前歯の幅径を測定する。

衛生士：ノギスまたは物差しを手渡し、計測値を記録する。

③人工歯の試適 必要器材：モールドガイド（モールドチャート、試適用トレー） 手鏡、シェードガイド

歯科医師：モールドチャートの表を参考として人工歯を選択する。

衛生士：指示のあった人工歯を試適用トレーに並べ、渡す。

歯科医師：患者の口腔内に挿入して顔貌の調和を確認する。

衛生士：患者に手鏡を渡して確認してもらい、承諾を得た上で人工歯番号を記録する。

歯科医師：シェードガイドを患者の口腔に近づけ、鏡を見せながら顔貌との調和を確認し選択する。

衛生士：選択された色調を記録する。

3. 床義歯の試適

<総義歯の場合>

- ①咬合状態の確認と修正 必要器材：排列済みの蠟義歯、ワックススパチュラ、エバンス彫刻刀、アルコールトーチ、手鏡、パラフィンワックス

歯科医師：蠟義歯を患者の口腔内に挿入し、軽く咬合を指示し中心咬合位を点検する。

衛生士：診査のための補助を行う。

- ②人工歯排列状態の確認と修正 必要器材：咬合紙・咬合紙ホルダー、人工歯調整用切削・研磨具

歯科医師：人工歯の排列を確認し、バランスの取れた排列状態になるように修正後発音のチェックを行う。

衛生士：患者に手鏡を渡し、完成状態に近い旨を説明し、承諾を得る。

<局部床義歯>

- ① 維持装置・連結装置の適合性の確認と調整および咬合状態の確認と修正

必要器材：排列済みの蠟義歯、クラスプ調整用鉗子、ワックススパチュラ、エバンス彫刻刀、アルコールトーチ、手鏡、パラフィンワックス、

歯科医師：蠟技師を装着し、クラスプなど維持装置やバーなど連結装置の適合と咬合関係を診査し、必要があれば調整する。

衛生士：試適に必要な補助をする。

②人工歯排列状態の確認と修正 必要器材：咬合紙・咬合紙ホルダー、
人工歯調整用切削・研磨具

歯科医師：人工歯の排列状態を診査し、必要があれば調整する。

衛生士：患者に手鏡を渡し、完成状態に近い旨を説明し、承諾を得る。

4. 後片付け

助手：後片付けを行う。

27. 人工歯の選択と床義歯の試適

必要器材

- ① 技工用ノギスまたは物差し ② モールドガイド(モールドチャート,試適用トレー)
- ③ 手鏡 ④ シェードガイド ⑤ 排列済みの蝋義歯 ⑥ ワックススパチュラ
- ⑦ エバンス彫刻刀 ⑧ アルコールトーチ ⑨ 手鏡 ⑩ パラフィンワックス
- ⑪ 咬合紙・咬合紙ホルダー ⑫ 人工歯調整用切削・研磨具 ⑬ クラスプ調整用鉗子